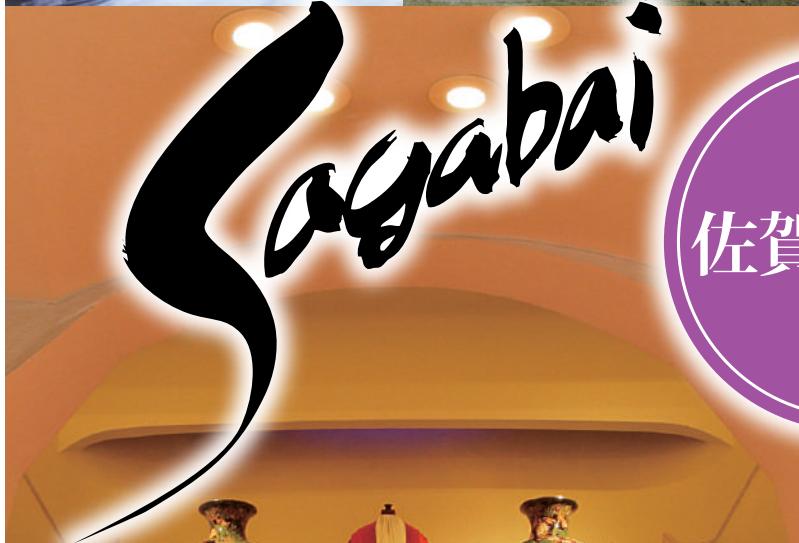


サガバイ“佐賀の賢人”ブック



(一社)佐賀市観光協会

あの日、あの時…、 佐賀には賢人たちがいた。

あなたは知っていますか？

佐賀には、かつて近代日本の礎を築いた賢人たちがいたことを。

あなたは知っていますか？

不老不死の薬を求めて、佐賀で数々の伝説を残した賢人がいたことを。

ある者は己の正義を貫くため兵を挙げ、ある者は弱い者のため国際法の舞台で戦い、

またある者は、その商才をもって日本に煎茶を広めていきました。

佐賀の至るところで見られる足跡のひとつひとつが、確かに彼らが佐賀にいたことを、雄弁に語りかけできます。

彼らに会うことは出来ないけれども、彼らから学ぶことは出来ます。

さあ、出かけましょう。佐賀の賢人たちの足跡を辿る旅へ。



目次

- | | | |
|--|--|--|
|  <p>鍋島直正
なべしまなおまさ
P3</p> <p>ずば抜けた
先進性を持つ名君。</p> |  <p>大隈重信
おおくましげのぶ
P4</p> <p>明治・大正
きっての傑物。</p> |  <p>佐野常民
さのつねたみ
P5</p> <p>搖るぎなき
博愛精神。</p> |
|  <p>島 義勇
しま よし たけ
P6</p> <p>北の大地を
切り拓いた開拓者。</p> |  <p>江藤新平
えとうしんぺい
P7</p> <p>「民権」を唱えた
初代司法卿。</p> |  <p>副島種臣
そえじまたねおみ
P8</p> <p>世界が認めた
正義の外務卿。</p> |
|  <p>大木喬任
おおき たかとう
P9</p> <p>教育制度の基礎を
作り上げた酒豪。</p> |  <p>枝吉神陽
えだよしじんよう
P10</p> <p>日本の未来を説く
カリスマ学者。</p> |  <p>相良知安
さがらちあん
P11</p> <p>ドイツ医学
導入の功績者。</p> |
|  <p>徐 福
じょふく
P12</p> <p>不老不死を求めた
浪漫の旅人。</p> |  <p>売茶翁
ばいさおう
P13</p> <p>煎茶を浸透させた
文化人。</p> |  <p>成富兵庫茂安
なりどみひょうごしげやす
P14</p> <p>今も遺構が残る
治水の神</p> |



鍋島直正

ずば抜けた先進性を持つ名君。

日本をリードしたリーダーシップ

佐賀藩9代藩主・鍋島斉直の嫡子として江戸の佐賀藩邸に生まれる。17歳で家督を継ぎ10代藩主になると様々な改革を実行し、佐賀藩を幕末の雄藩にのし上げた。家督相続当初、藩の財政は逼迫していたため、直正是まず粗衣粗食令を出し、自らも率先。藩の役人の大幅なリストラ、借金の整理、磁器・茶・石炭などの産業育成を通して財政改革を行った。

教育にも力を入れ、藩校「弘道館」の拡充や洋学を学ぶ蘭学寮を設置。子息の成績によって父親の禄を決定するといった「文武課業法」を制定するなど、徹底して勉学を推奨した。また、医学寮を設置し、当時世襲制が当たり前だった医者の免許制度を日本で初めて取り入れ、さらに当時不治の病であった天然痘の根絶のため、種痘を自らの長男で試すことでの信頼性を世人に示した。

そして長崎警備の名目の元、国防のための兵器の必要性を感じ、鉄製大砲鋳造のための反射炉を築いたり、理化学研究所「精煉方」や海軍伝習機関「三重津海軍所」を設置、国産初の蒸気機関の開発など、幕末佐賀藩の技術力は日本の最先端を走っていた。その結果として佐賀藩の軍事力と多くの優秀な人材は、明治維新期に大きな役割を果たし、日本の近代化を推進する原動力となった。

ショック! 意氣揚々の御国入りのはずが…

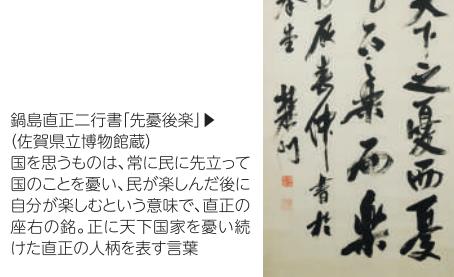
17歳で家督を継いだ直正が、意氣揚々と江戸から佐賀へ向かう途中、品川の宿で何と足止めを食らった。実は江戸の商人たちが未払い金の返済を求めて立ちふさがっていたのだ。直正是「これほどまでに藩の財政が逼迫しているのか」とショックを受け、それがトラウマとなって僕約令など藩の様々な財政改革に打ち込んでいく。これらの借金も、その8割を放棄させ、残りを50年賦にするという、ほとんど踏み倒しに近い力技。しかしこの経験が佐賀藩が雄藩への道を進む一つのきっかけとなっていく。



▲「鍋島直正公御歴史百図」に記された品川宿での足止めの様子
西村慶介氏蔵(佐賀県立博物館保管)

敵か?味方か? のらりとかわす大胆さ

尊王か佐幕かで揺れる中、当時強大な軍事力を持つ佐賀藩の動向は各藩の気になる所だった。味方にしようと来た幕府の使いに、直正是「寺でござってな」と断り真意を見せない。最後は倒幕軍につき、明治維新の大きな原動力の一つとなつたが、直正是程なくして亡くなってしまう。「戦国の世に生まれていれば、もう少し面白い世を送っていたかもしれない」。死ぬ際、そう漏らしたといわれる。



鍋島直正二行書「先憂後樂」
(佐賀県立博物館蔵)

國を思うものは、常に民に先立って國のことを憂い、民が楽しんだ後に自分が楽しむという意味で、直正の座右の銘。正に天下國家を憂い統いた直正の人柄を表す言葉



▲安政6年11月、江戸溜池頭にて撮影された46歳の直正。(鍋島報效会蔵)

[概略年表]

年	西暦	年齢	出来事
1814	文化11年	1	12月7日誕生。幼名貞丸
1830	天保元年	17	家督を継ぎ、佐賀藩第10代藩主となる
1835	天保6年	22	佐賀城二の丸火災、本丸再建を表明
1840	天保11年	27	藩校弘道館を拡張／長崎警備を強化
1844	弘化元年	31	火術方を設け砲術研究 オランダ軍艦パレンバン号に乗り込み視察
1849	嘉永2年	36	世子の淳一郎(直大)に種痘をためず
1850	嘉永3年	37	築地反射炉建設に着手
1851	嘉永4年	38	医学寮と蘭学寮を併設／神ノ島・四郎島間の埋立着工
1852	嘉永5年	39	精煉方を設ける
1858	安政5年	45	三重津御船手稽古所を設ける／医学寮を移転、好生館とする
1861	文久元年	48	隠居して閑叟を号する
1865	慶応元年	52	長崎に英学塾「致遠館」を設ける
1869	明治2年	56	上院議長拝命／大納言となる／北海道開拓史長官となる
1871	明治4年	58	1月18日死去

勉強するなら佐賀! 中央から地方留学

明治政府の中心的人物であった岩倉具視は、多くの人材を輩出した佐賀藩の教育に強い関心を示し、自分の二人の息子を佐賀へ留学させた。当時、中央から地方への留学は珍しく、いかに優秀な教育の場として注目されていたかが分かる。二人の姿は、長崎にある佐賀の英語学校「致遠館」の集合写真にも見ることができる。



鍋島直正足跡探訪コース【約2時間半】(移動約55分+観光散策約95分)

モデルコース 数多くの直正の偉業を今に伝える資料館や史跡を巡り、その全容を知る



徒歩で約15分



②佐嘉神社

徒歩で約5分



③徵古館

徒歩で約25分



④築地反射炉跡

車で約10分



⑤神野公園の「隔林亭」

①佐賀城本丸歴史館
直正が再建した本丸御殿の一部を復元した歴史博物館。まずはここで直正の功績や幕末佐賀藩の歴史をガイドによる説明も。

所 佐賀市城内2-18-1

開 9:30~18:00

休 12/29~1/1、臨時休館日

料 見学無料

問 ☎0952-41-7550

所 佐賀市松原2-10-43

開 9:30~16:00

休 徵古館ホームページをご覧ください

料 300円(小学生以下無料)

問 ☎0952-23-4200

直正が長崎警備のための鉄製大砲を鋳造するために建設した国内初の反射炉跡。日本の近代化産業の原点とも言える場所。

所 佐賀市长瀬町9-15

(臼新小学校校庭内)

所 佐賀市神園4-1

開 9:00~17:00

休 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始

料 見学無料、星茶サービス有(一席300円)



おおくましげのぶ 大隈重信 明治・大正きっての傑物。

詳しくはコチラ!



▲洋装姿の大隈(大隈重信記念館蔵)

持つて生まれた政治家資質

佐賀藩士の大隈信保・三井子夫妻の長男として生まれる。7歳で藩校「弘道館」に入学、優秀な成績を修めるも、漢学を中心とした閉鎖的な教育に反発、南北寮の大喧嘩の首謀者と目され、18歳で館を離れた。その後は蘭学寮へ入学し洋学を学ぶ傍ら、義祭同盟で尊王思想を学び、副島種臣と共に脱藩して京に向かうなど、志士活動を行う。

明治新政府では外国事務局判事に任命されると、キリスト教徒の処分問題でイギリス公使パーカスと激しい舌戦を繰り広げた。その後は大蔵卿、外務大臣、農商務大臣などを歴任し、グレゴリオ暦の導入、鉄道の敷設、貨幣制度の整備、東京専門学校(後の早稲田大学)の開校など、今日に残る様々な功績を残している。

そして1898年、板垣退助と共に隈板内閣を組閣、総理大臣になる。これは日本初の政党内閣と言われている。この内閣は半年程度で解散になるが、1914年には再び総理大臣に就任、2年後に79歳で解散となるが、これは総理大臣としては今日にいたるまで最高齢である。

これぞ母の愛デア 勉強部屋の工夫とは?

12歳の時に父を亡くした大隈は、母親の愛を一身に受け育つ。そんな大隈のために、母三井子が生家の二階に増築した勉強部屋には数々のアイデアが。部屋を明くるため、大きな窓を設けつつも、気が散らないように、外が見えない高さに設計。また勉強机の前には大きな梁のでっぱりが。実はこれ、勉強中に居眠りするとここに頭がぶつかり、目が覚める、ちょっと乱暴な仕掛け。そんな母の期待に応え、大隈は藩校、弘道館で優秀な成績を修めることになる。



▲当時のまま残る大隈の勉強部屋。

南北分かれての大論戦 退学になったその理由

大隈が学んだ藩校弘道館では、儒教教育が中心で、一方で「葉隱」も読み継がれていた。大隈はそんな旧態依然とした教育に反発、改革を唱え大論戦。やがて南北の寮に分かれての殴り合いの喧嘩となり、首謀者として大隈は弘道館を退学処分になってしまった。しばらくして復学を許されるも、大隈はその頃開設された蘭学寮に進み、留学のおかげで望んでいた洋学を学べるようになった。人生何が幸いするか分からない。

▲弘道館時代に使用していた教科書
(大隈重信記念館蔵)

その右足は義足だった 失われた脚の行方

1889年、当時外務大臣の大隈は過激運動家に爆弾を投げつけられ、右足を切断する大怪我を負った。以降、義足で過ごすこととなり、その義足は早稲田大学や大隈重信記念館などに残されているが、実は義足だけでなく、この事故で失われた本物の右足も残されているのだ。最初はアルコール漬けにして大隈邸に置かれていたが、維持費がかかるため日本赤十字看護大学に譲られ、さらに近年、里帰りを果たし、現在は大隈家の菩提寺にあるとのこと。

スイーツ大好き大隈侯 東京出張した故郷の味

佐賀を通る長崎街道はシュガーロードとも呼ばれ、様々な菓子文化が華開いた所。そんな中でも大隈の大好物だったのが佐賀銘菓、丸ぼうろ。明治29年の帰郷の際に惚れ込んだのだとか。東京でこの故郷の味を懐かしんでいると聞いた菓子屋「鶴屋」の主人は職人を連れて上京、東京の大隈邸内に窯を築いて、丸ぼうろをふるまつた。佐賀から東京、何とも贅沢なデリバリーサービスだ。



大隈重信足跡探訪コース【約3時間】(移動約100分+観光散策約80分)

モデルコース 母と共に幼き大隈を育てた佐賀の生活を追体験する



徒歩で約15分



②旧古賀家住宅

徒歩で約15分

義祭同盟の地
③龍造寺八幡宮
通つた藩校
④弘道館跡

徒歩で約20分

⑤龍泰寺

大隈家の菩提寺。大隈の墓参りで威徳を偲びつつ、受験・学問の大願成就を祈願してみるのもいい。

⑥鶴屋菓子舗
⑦高伝寺



徒歩で約10分

大隈の大好物、丸ぼうろの老舗。

古文書から製法を割り出した幻の菓子「肥前ケシアド」など、お土産にも最適。

鍋島、龍造寺家の菩提寺。境内には幼い大隈が登って身体を鍛えた「八太郎楓」の木がある。

⑧佐賀市西魚町1
⑨9:00～19:00
⑩元日
⑪0952-22-2314
⑫佐賀市本庄町大字本庄1112-1
⑬9:00～20:00
⑭大人300円 中学生150円
⑮駿迎堂御開扉期間は400円
⑯0952-23-6486

①大隈重信記念館・旧宅(生家)

大隈の生涯を知る記念館と、武家屋敷の面影を残す生家。維新の傑物の誕生地を踏み締め大隈巡りスタート。

① 佐賀市水ヶ江2-11-11
② 9:00～17:00
③ 12/29～1/3
④ 大人300円 小学生以下150円
⑤ 0952-23-2891

②旧古賀家住宅

旧古賀銀行の創立者、古賀善平の居宅。大隈も帰佐の際には、度々宿泊した。大隈気分でごろんとくろぐのも一興。

③ 佐賀市柳町3-15 ④ 9:00～17:00
⑤ 月曜(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日
(土日を除く)、年末年始、資料等整理期間。
佐賀城下ひなまつり準備・撤去期間
⑥ 見学無料(企画展を除く)
⑦ 佐賀市歴史民俗館 0952-22-6849



島義勇 北の大地を切り拓いた開拓者。

詳しくはコチラ!



▲束帯姿の島義勇(北海道大学付属図書館蔵)

熱き心で、極寒の大地を切り拓く

佐賀藩士島市郎右衛門の長男として佐賀城下精(しらげ)小路に生まれる。9歳の頃より藩校「弘道館」に学び、23歳で卒業。家督を継いだ後は諸国を遊學し、帰国して藩主鍋島直正の外小姓、弘道館目付となる。枝吉神陽の「義祭同盟」にも創設期から参加し、そこで江藤新平や大木喬任とも出会っている。

1856年、直正の信頼が厚かった島はその命で、当時の未開拓地であった蝦夷地(現在の北海道)の探検に随行。厳しい寒さの中、約2年に渡って北の大地を歩き続け、その詳しい調査結果を記した「入北記」を残している。

明治新政府では直正が蝦夷開拓督務となると、島はその経験を買われ開拓使判官に就任。北海道開拓の町づくりを任される。札幌を中心とした町づくりを進めるも、予算による衝突で志半ばで解任。後に秋田県権令となるも、ここでも中央政府とぶつかりまたも解任。後の佐賀の役では憂國党の党首となって戦うも敗れ、53年の理想に燃えた生涯を閉じた。

【概略年表】

		数え年
1822	文政5年	1
1830	天保元年	9
1844	弘化元年	23
1847	弘化4年	26
1850	嘉永3年	29
1856	安政3年	35
1858	安政5年	37
1867	慶応3年	46
1869	明治2年	48
1870	明治3年	49
1872	明治5年	51
1874	明治7年	53

【1889年(明治22年)賤名を解かれ、1916年(大正5年)從四位を贈られた】

極寒の大地で 島が目指した理想郷

島が都市設計の基礎を行った札幌の街。地図で見てみると、道が碁盤の目のように並び、地名にも一条、二条と言う名前が並んでいる。実はこれ、島が京都の町並みを参考に設計したため。札幌に日本一の町作りを目指した島だったが、厳冬の状況下、その工事は困難を極め、1年分の予算を3ヶ月で使い果たしてしまった。想い半ばで解任になってしまった。しかし、その先駆者たる島を札幌開拓の父として掲載し紹介している教科書もあるのだ。



▲「入北記」(北海道大学付属図書館蔵)

島が2年間に渡る北海道探索の記録をまとめたもの。植物や生態、アイヌの人々の生活の様子など、図入りで詳しく描かれている

▲1889年(明治22年)の札幌地図(札幌市中央図書館蔵)
碁盤の目のように整然と整備された町並みの中央には、当時としては類を見ない幅50mの大通りが見て取れる

島を駆り立てた 船中での挑発

士族による不穏な動きがある佐賀へ向かうため、島は船へと乗り込んだ。そこには、佐賀県権令として赴任する岩村高俊の姿もあった。船中、岩村は取巻き相手に佐賀人を高声にののしり、それを聞いた島は岩村と掴み合いの喧嘩になる。翌日、下関で降りた岩村が兵隊を連れて佐賀に乗り込むと聞いた島は怒り、討伐されようとしている佐賀のために起つ決心を固めたという。

また、島は義祭同盟の志士たちの中でも特に過激な攘夷論者として知られていた。佐賀の役で江藤新平と一緒に戦ったのは思想的に近い同志というよりも、各々の事情で政府軍と共に迎え討つたというのが真相らしい。

▲「佐賀県逆動記聞」1877年刊(佐賀県立博物館蔵)
佐賀の役を描いた錦絵。島や江藤新平の姿も描かれている。

島義勇足跡探訪コース【約2時間】(移動約95分+観光散策約25分)

モデルコース その生誕地から墓所まで、佐賀に残るその軌跡を辿る



徒歩で約10分



徒歩で約15分



徒歩で約15分



4殉国十三烈士の碑

江藤新平や島をはじめ、佐賀の役で殉死した13人を偲ぶ慰靈碑。県立博物館近くの歩道沿いにある。

所 佐賀市鬼丸町1-15-23付近
(佐賀県立美術館
・博物館敷地内)



徒歩で約15分



徒歩で約10分



車で約30分



8来迎寺

葉隱のふるさと、佐賀市金立町の小高い丘の上にある島家の菩提寺で、島も今はここで静かに眠っている。

所 佐賀市金立町大字金立1660
間 ☎0952-98-1025

①島義勇誕生地

佐賀大学の北側の細い路地沿いにある、当時島家の屋敷があったとされる場所。今では石碑が立つのみ。

所 佐賀市与賀町1342付近

②島義勇銅像

明治維新150年となる2018年、北海道開拓に貢献した島義勇を顕彰するため建てられた銅像。

③宝琳院

佐賀の役際に島率いる憂國党が本拠とした寺。

所 佐賀市鬼丸町1-15-23付近
(佐賀県立美術館
・博物館敷地内)

④殉国十三烈士の碑

江藤新平や島をはじめ、佐賀の役で殉死した13人を偲ぶ慰靈碑。県立博物館近くの歩道沿いにある。

所 佐賀市鬼丸町1-15-23付近
(佐賀県立美術館
・博物館敷地内)

⑤万部島

(佐賀の役記念碑)
鍋島家の安泰を祈って法華經一萬部を読んだ

小さい島の跡、敷地内の「佐賀の役記念碑」を恐ろしげな亀(亀趺)が背負う。

所 佐賀市水ヶ江1-8-5付近

⑥弘道館跡

義祭同盟の地
龍造寺八幡宮

徒歩で約10分

⑦龍造寺八幡宮

佐賀の役記念碑

所 佐賀市金立町大字金立1660
間 ☎0952-98-1025

佐賀の役で敗れ有明海を舟で南下する前夜。船着き場の村女たちが「途中でおなかがすいたらかわいそう」と江藤のために晩御飯として作ったお菓子は、朝日新聞社は江藤ファン必読の書だ。



えとうしんぺい 江藤新平

「民権」を唱えた初代司法卿。

民のために走り抜けた法律家人生

佐賀城下八戸村に佐賀藩士の江藤胤光の長男として生まれる。父胤光は佐賀藩士とはいえ、手明鑑(てあきやり)という下級武士で、日々の生活にも困窮するような家だった。

12歳の時に藩校弘道館に入学。1850年に枝吉神陽により「義祭同盟」が結成されると参加、尊王思想などを学び、仲間と議論に明け暮れる。23歳で意見書「図海策」を書き、開国論を唱える。29歳の時に藩の方針に業を煮やし脱藩、京都に入り当時の世相をまとめるも、謹慎を命じられる。

大政奉還によって幕府が消滅すると、郡目付として復帰。新政府が誕生すると京都に派遣される。江戸城が無血開城されると城内の文書類を接収し、当時の法令を読み解く。

そして明治5年、明治新政府において初代司法卿に就任。四民平等を説き、当時「民権」という概念がなかった時代に、民の権利を守り、誰でも公平な裁判ができるようにした。また学制制度や警察制度整備、娼妓解放令などを進める。しかしその性急な改革が政府内の反感を買ったのも事実で、最後は佐賀の役に敗れ、鹿児島から高知への逃亡の末捕らえられ、まともな裁判もなしに処刑されてしまう。時代を達見した天才の早すぎる最期だった。

詳しくはコチラ!



▲カメラを睨み付けるような江藤の肖像写真
(佐賀本丸歴史館蔵)

【概略年表】

	天保5年	1	2月9日、江藤胤光の長男として佐賀城下八戸村に誕生
1845	弘化2年	12	父に従って晴氣村(小城町)に移る／弘道館に入学
1849	嘉永2年	16	弘道館内書生寮に寄宿／父が佐賀代官出仕となる
1856	安政3年	23	「図海策」を書き、開国論をとなえる
1862	文久2年	29	脱藩し京都に入り「京都見聞」をまとめると謹慎を命じられる
1867	慶応3年	34	12月、閉門を許され郡目付となる／京都で活躍を始める
1868	明治元年	35	西郷隆盛と共に江戸城に入る／太木喬任と共に東京遷都を建白
1869	明治2年	36	佐賀藩権大参事となり副島種臣と藩政改革
1870	明治3年	37	「国政改革案」など建議
1871	明治4年	38	文部大輔、左院副議長となる／廃藩置県を施行
1872	明治5年	39	司法卿となり法制公布施行に当たる
1873	明治6年	40	参議となる。征韓論に破れて、10月参議を辞任
1874	明治7年	41	佐賀の役。薩摩、土佐へ逃れ、土佐にて捕縛。4月13日没

【1889年(明治22年)賤名を解かれ、1916年(大正5年)正四位を贈られた】

ちょっと損してる? 無愛想写真の真実

おなじみの仏頂面の江藤の肖像写真。実は脱藩し、京都に行った時に撮られた、生涯一度の肖像写真。その表情にも訳があり、京都で世話をしていた桂小五郎や伊藤博文らに言われるままに着物を着せられ、言われるままに写真を撮っている自分に腹が立っていたからだと。それ以来写真嫌いになった江藤は、ほとんど写真に写らなくなってしまった。



▲司法省高官とともに。前列右から3人目が江藤
(佐賀本丸歴史館蔵)



江藤新平足跡探訪コース【約2時間】(移動約75分+観光散策約40分)

モデルコース 江藤が苦悩しながらも、育ち、学んだ佐賀の暮らしを知る



車で約10分



車で約20分



車で約5分



徒歩で約5分



車で約25分

①金福寺

脱藩した江藤が謹慎処分になっていた寺。天下国家の先を憂うも何もできず、悶々と過ごした江藤の日々を追体験。

所 佐賀市富士町大野916

②実相院

江藤率いる征韓党が佐賀の役の際に本営とした寺。門前には佐賀の役の戦死者の慰靈碑があり、その悲哀が感じられる。

所 佐賀市大和町大字川上947
閻 0952-62-2652

③江藤新平生誕地

長崎街道から少し入った所にある生家跡。今では場所を示す案内板のみ。近所の龍雲寺は小さい頃の遊び場だった。

所 佐賀市八戸2-5-14付近

④本行寺

正門から入ると本堂手前の左側に江藤の墓がある。全国からの参拝客も多く、墓碑の副島種臣の字も見どころ。

所 佐賀市西田代1-4-6
閻 0952-24-1813



⑦江藤新平乗船の地

江藤が佐賀の役からの脱出の際に、船に乗った乗船の地。政府から追われる身になった江藤の心情が偲ばれる。

所 佐賀市西与賀町大字高太郎
2116付近



そえ じま たね おみ

副島種臣

世界が認めた正義の外務卿。

詳しくはコチラ!



▲明治5年、マリア・ルス号事件を担当していた頃の副島の肖像

人をとりこにする人柄と学識

佐賀藩士枝吉南濠の二男として佐賀城下鬼丸町に生まれる。国学者である父と兄・枝吉神陽の影響により、早くから尊王攘夷思想に目覚める。7歳で藩校「弘道館」に入学。21歳で弘道館首班を務めるまでになる。

32歳の時、父南濠が亡くなると同藩の副島利忠の養子となる。兄の「義祭同盟」にも参加。1867年には大政奉還を進めるために大隈重信と脱藩するが、捕えられて謹慎処分を受ける。

明治政府では参与・制度取調局判事となり、1869年に参議、1871年に外務卿を歴任。明治5年のマリア・ルス号事件で「正義の人」として躍躍国内外で脚光を浴びるようになる。翌年、征韓論争に敗れて下野。自宅を売り払い、中国大陆を旅行し見識を深める。後に明治天皇の待講を務め、天皇からも寵愛された。

西南戦争で敗れた西郷隆盛が日本の未来を託す遺言状の宛先に副島を選んだことからもわかるように、幕末維新期～明治初期の多くの英傑から全幅の信頼を受ける学識と人柄であった。

書家「蒼海」としても多くの作品を残し、その独創的な書は今もなお多くの人を魅了している。同じく佐賀出身の書聖、中林梧竹と共に近代書の源流と言われている。

【概略年表】

		数え鈴	
1828	文政11年	1	10月17日、佐賀藩士枝吉南濠の二男として誕生
1848	嘉永元年	21	弘道館内寮生の首班となる
1852	嘉永5年	25	京都に留学して、皇學を研究、「日本一君論」を説く
1859	安政6年	32	佐賀藩士副島和忠の養氏となり、副島二郎種臣と名乗る
1865	慶応元年	38	長崎の「致遠館」において、フルベッキより英学を学ぶ
1867	慶応3年	40	大隈重信とともに脱藩して上京、「大政奉還」を説く
1868	明治元年	41	新政府にて参与となり、制度取調局判事に任せられる
1869	明治2年	42	参議に任せられ、西郷隆盛とともに東北諸藩の処置
1871	明治4年	44	樺太の国境問題について露國領事と談判／外務卿となる
1872	明治5年	45	マリア・ルス号事件
1873	明治6年	46	清国におもむき「日清修好条約」の批准を交換、清国皇帝に謁見
1874	明治7年	47	板垣退助、江藤新平らと愛國公党を設立、民撰議院設立建白書提出
1876	明治9年	49	霞ヶ関の自宅を売り、清国歷遊の旅に出る
1879	明治12年	52	宮内庁御用掛一等侍講に任せられる
1891	明治24年	64	枢密院副議長に任せられる
1892	明治25年	65	3月、内務大臣に任せられるも6月辞任／再び枢密顧問官に
1905	明治38年	78	1月31日、死去

人間としての法に従った正義の人

副島を語る上で外せないのがマリア・ルス号事件。明治5年(1872)に横浜港に停泊中のペルー船マリア・ルス号内で奴隸的扱いを受けていた清国人231人を解放した事件で、日本初の国際裁判だった。国際問題になることを恐れ、周りが不干渉を決め込む中、外務卿の副島は断固として人道主義・日本の主権独立を訴え、勝利を勝ち取った。この事件を機に、副島は「正義の人」として国際的にも広く知られるようになった。



▲若き日の副島（左端）と大隈重信（右隣）と思われる写真（大隈重信記念館蔵）

書道デザイナー 独創的すぎる書

副島は「蒼海」の名で多くの書を残しており、その作品は書道界に大きな衝撃を与えた。作風は誰にも似ず、独創性にあふれ、文字というよりむしろ絵画のように見える。書道雑誌も蒼海を特集すれば良く売れる、展覧会の図録も売り切れてしまうほど。ちなみに「佐賀新聞」の題字も副島の作。



▲「春日其四句」幾何学的パターンを連ねた書は絵画にも似る。読みは「野は烟霞(えんか)の色に富み、天は花柳の春を縊(ほしいま)にす。」

自由なる精神 天皇にも愛された人柄

副島は明治天皇に学問を講じる「待講」という職についていた。しかし周りのやっかみもあり、副島が辞職しようとした時、まだ続けて欲しいと天皇直筆の手紙を賜り、思いとどまったことがあった。また、副島の貧乏暮らしを見かねた天皇がお金を送った時には「名君は万人に平等であらねば」とこれを辞退。その勇気あふれる高潔な人柄が愛されていた。



副島種臣足跡探訪コース【約2時間】(移動約75分+観光散策約45分)

モデルコース

佐賀市街に残る、副島の軌跡と書の作品を訪ね歩く



①副島種臣生誕地

佐賀城南堀沿いにあった枝吉家の屋敷跡。現在は社会福祉会館の駐車場で、その石碑の揮毫(さうごう)も見事。

TEL 佐賀県佐賀市鬼丸町7-18



②佐賀県立博物館・佐賀県立美術館

「蒼海」などの名で残した多くの書の作品が収蔵され、常設展示も数点。展覧会なども企画されるので、まずは電話確認を。

TEL 佐賀市城内1-15-23
開 9:30~18:00
休 月曜(祝日の場合は翌日)、12/29~31
料 無料(特別展は除く)
問 ☎0952-24-3947



③弘道館跡

藩校弘道館跡。裏手には松原川が流れ、寄宿舎時代に多くの仲間と共に過ごした生活が想像され楽しい。

TEL 佐賀市松原2-5-22(徵古館横)



④龍造寺八幡宮

義奈同門地

⑤與賀神社(与賀神社)

副島の「神降百福」の直筆が社務所に、木額が本殿の拝殿正面に掲げられ、いつでも気軽に副島の書を拝める穴場。

⑥高伝寺

鍋島家、龍造寺家の菩提寺で、元枝吉神陽の遺徳碑と並んで副島の墓があり、二人を同時に参拝ができる。

TEL 佐賀市本庄町大字本庄1112-1
開 9:00~20:00
料 300円
問 ☎0952-23-6486



⑦高伝寺

鍋島家、龍造寺家の菩提寺で、元枝吉神陽の遺徳碑と並んで副島の墓があり、二人を同時に参拝ができる。

TEL 佐賀市本庄町大字本庄1112-1
開 9:00~20:00
料 300円
問 ☎0952-23-6486

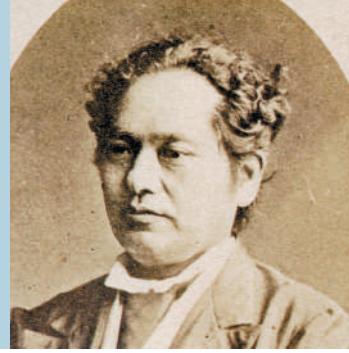
弘道館の仲間の中で「怒つせると一番悪い」と噂されていたのが大木だった。大隈重信は大木が血だけの喧嘩をしこりのを目撃して、すさまじかつたと語っている。普段は読書ばかりしていたがやる時はやる、一静かなる武闘派だったらしい。



おおきたかとう 大木喬任

教育制度の基礎を作り上げた酒豪。

詳しくはコチラ!



▲明治のはじめ頃の大木(長崎大学附属図書館蔵)

全ての国民に「学び」の場を与える

佐賀藩士大木知喬の長男として佐賀城下赤松町に生まれる。11歳の時に、父知喬が亡くなり、母シカ子の手一つで育てられることになる。

15歳の頃から藩校「弘道館」の内寮生となり、19歳の時に枝吉神陽により「義祭同盟」が結成されると参加。江藤新平、大隈重信、副島種臣らと親交し、志士活動にも参加している。

明治元年、明治新政府に出仕すると、江藤と共に江戸遷都を建白。名前を東京と改め、民間出身としては最初の東京府知事となる。明治4年には初代文部卿となって学制・学校令・教育勅語などの教育体制の整備に尽力。誰でも学校に通えるようにし、全国に5万以上の小学校を置くなど、今日に続く学制の基礎を築いた。

明治6年には参議兼司法卿となり、後の神風連の乱や萩の乱の事後処理に当たった。また、法典編纂の確立にも尽力したことから、明治の六大教育家の一人に数えられている。



▲大木が書いた学制発布に関する書簡(早稲田大学図書館蔵)

父親譲りの大酒豪 どんな時でもまず酒だ

大木は父親譲りの相当な酒豪で水のように飲んでいた。15歳で藩校弘道館に入った後も隠れて飲んでいたらしい。そんな彼がほろ酔いで東京遷都案を岩倉具視に相談に行った所、「それは木戸孝允に相談しろ」と追い返された。翌朝、岩倉から話を聞いた木戸が大木を訪ねると、今度はやけ酒を飲んでふて寝していたらしい。

知識は拳より強し 寝ている暇などなし

周りの人間が口を揃えて言う程、大木は頭が良かった。それを培ったのが大量の読書。藩校「弘道館」の寮生として暮らしている時も、毎晩明け方まで中国の歴史書などを読み続け、その部屋は本で足の踏み場もなかつたらしい。

【概略年表】

	数え齢	年	事件
1832	天保3年	1	3月23日、佐賀藩士大木知喬の長男として佐賀城下赤松町に誕生
1842	天保13年	11	父、知喬が亡くなり、以降、母シカ子の手で育てられる
1846	弘化3年	15	藩校弘道館に学ぶ／「資治通鑑」を精読
1850	嘉永3年	19	枝吉神陽らの主唱で義祭同盟が生まれ、参加する
1860	万延元年	29	藩校弘道館から選ばれて江戸遊学の途に上る
1863	文久3年	32	江藤新平と久留米に潜行し、長州藩士らに会う
1868	明治元年	37	江藤新平と共に東京遷都論を建白、東京府知事となる
1873	明治6年	42	参議に任じ文部卿を兼ねる／司法卿に任せられる
1876	明治9年	45	西国出張、萩、神風連、秋月の乱などの裁判処理にあたる
1881	明治14年	50	司法卿に任せられる
1884	明治17年	53	多年の功により華族に列し伯爵を授けられる
1889	明治22年	58	枢密院議長に任せられる
1891	明治24年	60	宮中顧問官、文部大臣に任せられる
1899	明治32年	68	6月26死去、東京青山墓地に葬られる

失敗から学べ 食料危機を救った方法

大木が明治新政府のもと、東京府の二代目の知事になったのは1869年。ただでさえ幕府が倒れて東京は混乱の真っ最中なのに、凶作で米価が高騰して人心は不安定だった。彼が素早く米価安定を図り、中国から南京米を輸入し飢餓を救い、浮浪児らの教育所を作ったので都の人心は安定した。一方で荒れ果てた武家屋敷を利用して桑園や茶畠を作った「桑茶規則」は、病害などで目立った効果が出ず、大木も「大失敗だった」と述懐。しかし「失敗を人より早く悟り、過ちを改めてさらに都再建の意欲がわいだ」との言葉には、しぶとい男・大木らしさがうかがえる。

学生時代の仲良しトリオ 熱き友情物語

寡黙な性格だった大木がよくつるんでいたのが、中野方蔵と江藤新平。共に弘道館で学び、義祭同盟にも参加した仲間。中野は坂下門外の変に関係したと捕らえられ、28歳で獄死してしまうが、大木はその亡きがら引き取り密かに弔い、墓を建てて冥福を祈った。また、若き江藤が脱藩を決意した時には、その資金を工面したり、明治7年に江藤が不穏な動きのある佐賀に帰ろうとした時も彼を心配し引き止めたり、結果江藤が捕まった時も死刑にならないよう政府内を奔走したりと、友情をことのほか大切にした人物だった。



▲「東京府京橋之図」月岡芳年/画(早稲田大学図書館蔵) 大木が江藤新平と建白した東京遷都により、京都から東京に移る天皇の行列を描いた錦絵



大木喬任足跡探訪コース【約2時間半】(移動約95分+観光散策約55分)



徒歩で約10分



②大隈重信旧宅(生家)

通つた藩校
③弘道館跡
徒歩で約15分



④龍造寺八幡宮(楠神社)

大木らが参加した義祭同盟の楠神社(写真)と記念碑がある。大木はその創立メンバーの一人だった。

〔住〕佐賀市水ヶ江2-11-11

〔開〕大隈重信記念館の敷地内にあり、内部公開期間については、要問合せ

〔問〕0952-23-2891

徒歩で約20分
車で約40分

⑥西住寺

勤王家石井龍右衛門が興した私塾で、大木の他大隈重信、副島種臣、江藤新平、中野方蔵らが学んでいた。

〔住〕佐賀市伊勢町6-25

大木が旧横田村を領地として賜り、その後菩提寺となった。歴代の墓碑をはじめ、喬任、その子遠吉までの墓がすらりと並ぶ。

〔住〕神埼郡吉野ヶ里町大曲1539

〔開〕墓地内安全の為、参拝は要問合せ

〔問〕0952-52-1105

①大木公園

大木の生家跡にある公園。大木と息子遠吉の巨大な記念碑が並び、その偉業の大きさを感じられる。

〔住〕佐賀市水ヶ江3丁目4-12

〔開〕大隈重信記念館の敷地内にあり、内部公開期間については、要問合せ

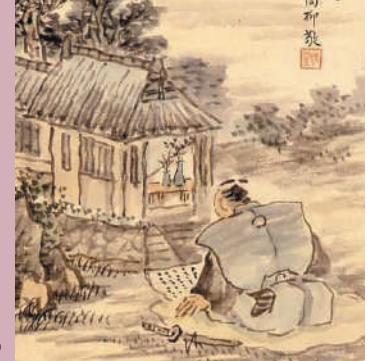
〔問〕0952-23-2891



えだ よし しん よう 枝吉神陽

日本の未来を説くカリスマ学者。

詳しくはコチラ!



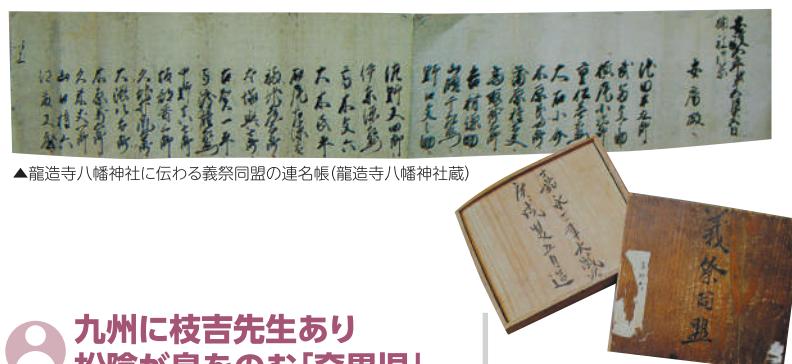
▲「神陽先生拝楠神図」(個人蔵／佐賀県立博物館 寄託)
枝吉の姿を伝える唯一の絵図で、楠木正成を祀っている図

義祭の志士たちに慕われた高潔な師

藩校・弘道館の教諭であった枝吉南濠の長男として佐賀城下鬼丸町に生まれる。副島種臣は実弟。幼児期より神童と賞され、23歳の時には江戸幕府直轄の昌平坂学問所に学び、同舎の舎長を務める。帰郷した後は弘道館で教鞭を執る傍ら、父南濠の唱えた「日本一君論」を受け継ぎ勤王運動を行う。

1850年、楠木正成を祀る「義祭同盟」を結成。尊王思想を説き、江藤新平や大隈重信、副島種臣、島義勇、大木喬任など、後に明治政府の重鎮となる青年たちの眼を開かせた。

1862年、コレラに感染した妻をいたわり看病するうちに自身も感染し、先立つ妻を追うように2日後、世を去った。彼の人格や思想は義祭の青年たちの心に宿り、明治の国作りの随所随所で影響を及ぼすこととなる。



九州に枝吉先生あり 松陰が息をのむ「奇男兒」

枝吉の門下から明治政府で活躍する多くの偉人を輩出したことから「佐賀の吉田松陰」とも呼ばれているが、松陰は実際に佐賀に来て枝吉と会ったことがある。

その印象は「奇男子」。後に九州に向かうという友人には、必ず枝吉を訪ねるようにと勧めている。また、水戸の藤田東湖と共に「東西の二傑」とも称されていた。



▲吉田松陰(国立国会図書館蔵)

その容姿は体育会系? 富士山だって下駄履きで

枝吉は残念ながら後ろ姿の肖像画しか残っていないが、伝えられるところによると、身体は大きく、足は長く、顔は角張っていて口は大きく、まじりは長く、目は輝き、声を出すと障子が震えたとか。一見、書生とは思えない体育会系の体型。弟の副島種臣の話によれば、20里(約80km)は毎日歩いてよいと言う程の健脚家で、江戸の昌平坂学問所(学校)にいた時は、下駄履きで富士登山をしたなど信じられない話もある。

討つべきは異国か幕府か 分裂した義祭同盟

枝吉が結成した勤王組織「義祭同盟」。しかし、黒船来航で世間の情勢が一変すると、次第に勤王運動が藩の不利益に繋がると考える保守派と、倒幕すら視野に入れた過激な改革派に分裂していった。そんな改革派を率いていたのが創設者の枝吉自身と弟・副島種臣の兄弟だった。結局その活動は藩政を動かすには至らなかつたが、彼らの情熱は後の維新での精神的な礎となつた。



▲「義祭同盟」の象徴とも言える楠木正成と正行父子像。
楠木社の例祭(5月25日前後の日曜に開催)の時に開扉される



枝吉神陽足跡探訪コース【約2時間】(移動約70分+観光散策約50分)

モデルコース

義祭同盟の八幡神社から墓所まで、若者の育成に捧げた人生を辿る



①龍造寺八幡宮

境内にある楠木社(写真)は枝吉が主宰した義祭同盟の拝殿であり、ここから多くの俊英たちを輩出していく。

住所 佐賀市白山1-3-2
電話 0952-23-6049



②弘道館跡

枝吉が教鞭を取り、佐賀の多くの偉人を輩出した藩校、弘道館の跡地。石碑は徳古館の西側に建ち、当時を偲ばせる。

住所 佐賀市松原2-5-22(徳古館横)
電話 0952-23-4200



③枝吉神陽誕生地

佐賀城の南堀沿い、かつて枝吉家の屋敷があった所で、現在は社会福祉会館の駐車場。弟の副島種臣の誕生地も同地。

住所 佐賀市佐賀市鬼丸町7-18



④梅林寺

義祭同盟結成まで、楠公父子の木像が安置されていた寺。1850年の結成後、数年間はここで楠公を祀る義祭が執り行なわれた。

住所 佐賀市本庄町大字本庄377
電話 0952-24-9005



⑤高伝寺

鍋島家、龍造寺家の菩提寺で、枝吉の墓もここに。弟の副島種臣の墓と枝吉の遺徳碑も並び、その威徳を偲ぶことができる。

住所 佐賀市本庄町大字本庄1112-1
電話 0952-23-6486
料金 300円
時間 9:00~20:00



さがらあん 相良知安 ドイツ医学導入の功績者。

詳しくはコチラ!



▲長崎にてボードイン(左)と相良(右)ら門下生。
(「相良知安」所載)

立身より医学発展にかけた人生

藩医相良柳庵の三男として佐賀城下八戸村に生まれる。相良家は代々佐賀藩医の家系で、彼も医者の道を目指す事になる。

16歳で藩校弘道館に入学、19歳で洋医学を学ぶ蘭学寮に進み、21歳で創設されたばかりの医学校に入学。また、千葉の「佐倉順天堂塾」で医学を学び、長崎の「長崎養生所」ではオランダ人医師のボードインに師事した。

33歳の頃に藩主鍋島直正の侍医として上京。明治になると、新生日本の医学校創設を任せられる。当時の明治政府内ではイギリス医学を日本の規範に決めていたが、長崎にて収集した異人たちの情報を基に、「ドイツ医学こそ世界最高水準」と明治の元勲たちの前でもひるまず堂々と主張。政府の方針を最終局面で覆した。

明治5年には第一大学区医学校(現東京大学医学部)の初代校長となり、さらに「医制略則」を起案。今日まで続く医学制度の基礎となっている。

しかしドイツ医学導入の件で一部藩閥の恨みを買ったせいか、後は重要なポストに就くこともなく、50歳の時には全ての官職を退く。晩年は易者(占い師)として、長屋で不遇の時代を過ごし、71歳でひっそりとその生涯を閉じることとなる。

【概略年表】

	数え年	西暦
1836	天保7年	1
1851	嘉永4年	16
1854	安政元年	19
1861	文久元年	26
1863	文久3年	28
1865	慶応元年	30
1867	慶応3年	32
1868	慶応4年	33
1869	明治2年	34
1872	明治5年	37
1873	明治6年	38
1874	明治7年	39
1875	明治8年	40
1885	明治18年	50
1900	明治33年	65
1906	明治39年	71
		6月10日、死去

⑧ グズグズしてられない 世界まであと何年?

28歳の相良が長崎で医学を学んでいた時のこと。蘭医ボードインが「日本の医学は何年経てば、歐州諸国に追いつけるか」と生徒たちに質問。他の生徒たちが「100年かかる」「いや80年」などと答える中、相良だけは「14~5年後には追いつくでしょう。いや追いつかねばなりません」と熱弁。相良の医学にかける情熱はこの頃既に燃えあがっていた。

⑧ 佐賀と東京、二人の妻 その二人が出会った時

相良は故郷佐賀に妻の多美と子供を残し上京し、以後37年間の東京生活。東京では定と言う女性と暮らしていた。いわゆる「権妻(ごんさい)」である。後年、相良が亡くなると、正妻の多美は上京し、権妻の定と対面。正に修羅場…とはならず、定は天皇陛下より相良へ授られたお金と遺骨を多美へ手渡し、多美は苦労しながら相良を支えた定の手を握り、いつまでも二人で涙したという。

相良知安足跡探訪コース【約2時間】(移動約75分+観光散策約45分)

モデルコース

相良が半生を過ごし、戻る事のなかつた佐賀での軌跡をたどる



徒歩で約30分



②弘道館跡



徒歩で約5分

③佐賀県立図書館



徒歩で約10分

④水ヶ江の屋敷跡



徒歩で約30分

⑤城雲院

①相良知安生誕地

長崎街道沿いで、現在はアパートの駐車場。小さい頃、江藤と一緒に遊んだ龍雲寺も近く、幼い二人はどんな姿だったのだろう。

所 佐賀市八戸1-4-19

②弘道館跡

相良や江藤が共に学んだ佐賀藩の藩校。明治政府で活躍した多くの偉人を輩出し、近代日本成立に大きな役割を果たした。

所 佐賀市松原2-5-22(歴古館横)

間 徹古館 ☎ 0952-23-4200

相良による「医制略則」等、関連資料や文書などを多数保存。事前連絡すれば閲覧も可能で、本物の持つ息吹を感じられる。

所 佐賀市城内2-1-41

間 9:00~20:00

休 毎月最終水曜日、特別整理期間、

年末年始

間 ☎ 0952-24-2900

結婚した相良が妻子と共に暮らしたのは、大隈生家の西隣。妻子を残し上京した相良がこの家に再び戻ることはなかった。

所 佐賀市水ヶ江2-11-8

間 ☎ 0952-26-7218

佐賀銀行本店南の小路を東に入る。境内にひっそりと建つ相良の墓に手を合わせ、その熱い生涯に思いを馳せよう。

所 佐賀市唐人2-7-5

間 ☎ 0952-26-7218



じよ ふく 徐福

不老不死を求めた浪漫の旅人。

詳しくはコチラ!



▲不老不死の仙薬を発見したと言われる金立山を背景に立つ徐福像は、中国の連雲港市から送られた。

佐賀に伝わる古代ミステリー

今から約2200年前、史上初の中国統一を果たし、あらゆる権力と富を手にした秦の始皇帝。絶対の権力者の彼らでさえままならなかったのが、「古い」と「死」だった。徐福はその始皇帝に仕える方士で、呪術、祈祷、医薬、占星術、天文学に通じた学者。実は始皇帝に滅ぼされた斉の国人で、その頭脳を見込まれて仕えていた。

司馬遷が書いた中国の歴史書「史記」によると、徐福は始皇帝に「東方の三神山に不老不死の靈薬がある」と進言し、始皇帝の命を受け、3,000人の童男童女と多くの技術者を従え、五穀の種を持って、東方に船出し、「平原広沢(広い平野と湿地)」を得て、王となり戻らなかつたと記されている。

この徐福の渡来伝説は日本各地に伝えられているが、特に佐賀には数多くの伝承が残されており、昔から「徐福さん」と呼ばれ親しまれている。

徐福が追い求めた フロフキは不老不死の薬?

仙薬を探す徐福が金立(きんりゆう)山で出会ったのは謎の仙人。徐福が仙薬の場所を訪ねると、仙人はゆがいでいる釜の中を見せ、霧のように消えてしまった。その釜の中にあったものこそ、徐福が求めていた仙薬で、「フロフキ」という薬草だった。フロフキは、今も金立山に自生しており、土地の人々は煎じて飲めば腹痛や頭痛に効果があると言う。



▲自生するフロフキ。徐福長寿館で実物を見ることができる。
同じ科のサイシンは実際に漢方薬として利用されている



▲「金立神社画図縁起」(金立神社蔵 佐賀県立博物館寄託)
画面は絹布3枚継ぎで、上段は金立神社上宮、中段は金立神社下宮、下段は徐福上陸の場となっている。かつて天皇や鍋島家も参拝したという由緒ある金立神社の姿を伝える貴重な資料

チャンスは一生に二度 50年に一度の幻の行列

徐福を祀る金立神社には、何と50年に1度開催される例大祭がある。また、神輿を担いで、徐福が上陸地から金立山まで辿った道を逆に下る「お下り神事」も開催される。次の開催は2030年。一生に一度か二度の貴重な機会だ。



▲前回の昭和55年4月に行われた例大祭の様子
(「佐賀に息づく徐福」所載)

【概略年表】

		数え年
BC.221	58	斉の国が滅亡し、秦の始皇帝が即位
BC.219	60	不老不死の仙薬を求め、蓬萊・方丈・瀛洲の三神山に向けて旅立つも、見つかず
BC.212	弥生時代 67	始皇帝に「蓬萊に行けば仙薬が手に入るが大鯫に邪魔されたり着けない」と報告
BC.210	69	童男童女3,000人と技術者、五穀や数々の道具を船に乗せて大船団で再び出航 始皇帝崩御

※徐福の生没年などは諸説あり



《徐福ゆかりの温泉に浸かろう!》

⑥古湯温泉

金立山の西にある古湯温泉は湯の神のお告げに導かれて、徐福が見つけたと伝えられている。泉質はアルカリ性単純温泉で美人の湯「ぬる湯」として評判が高い。徐福巡りの旅の宿に最適。

問 富士町観光案内所 ☎0952-51-8126



悲劇のもとは聞き間違い お辰との悲しい恋の物語

お辰は金立の地で徐福と恋仲になった娘。徐福が一時この地を離れる時、「5年後に戻る」との伝言があやまって「50年後」と伝わってしまったため、お辰は悲しみのあまり亡くなってしまう。これは中国、日本を含めて唯一伝わる徐福の悲しい恋の物語である。



徐福足跡探訪コース【約2時間】(移動約65分+観光散策約55分)

モデルコース

上陸の地から、仙薬を見つけたという金立山までの道程をたどる



車で約5分



②新北(にきた)神社

車で約40分



③お辰観音

車で約10分



④徐福長寿館

車で約20分



⑤金立神社(上宮)

①徐福上陸地(浮舟)

徐福上陸の伝説の地で、現在は神社として拝殿や掲示板等が整備されている。ここから徐福巡りの旅をスタート!

所 佐賀市諸富町大字寺井津15隣

境内のビャクシンは徐福が上陸の記念に、中国から持ってきた種を植えたものと伝えられ、貴禄ある姿を挙むことができる。

所 佐賀市諸富町大字為重1073

徐福との悲恋の末に亡くなったお辰を偲ぶ観音像。お辰が「自分のようにはさせない」と、縁を結んでくれる。

所 佐賀市金立町千布3055-3付近

日本唯一の徐福の公的資料館。佐賀の徐福伝説発信の中心施設で、徐福や薬草に関する様々な情報はここで得られる。

所 佐賀市金立町大字金立1197-166

開 9:00~17:00

休 月曜 祝日の翌日 年末年始

料 大人300円 小中学生150円

問 ☎0952-98-0696

金立山頂上にある、徐福を祀る神社。天皇も参拝した由緒ある神社で、その徳を感じつつ、徐福が開拓した佐賀平野を見渡そう。

所 佐賀市金立町大字金立3415

問 金立神社下宮

☎0952-98-1409



売茶翁

煎茶を浸透させた文化人。

詳しくはコチラ!



▲売茶翁像(比嘉多宇隆筆／部分)
(佐賀県立博物館蔵)

煎茶で真理をわかつち合った風流人

煎茶の祖、高遊外売茶翁は延宝3年、佐賀蓮池支藩の藩医の三男として誕生。11歳で龍津寺に出来し僧名は月海。22歳で修行不足を恥じ江戸、仙台等各地へ出かけた。煎茶は長崎の中国僧から習ったとの説もある。また、隱元禪師が京都宇治に開いた、黄檗山(おうばくさん)萬福寺でも修業、中国伝来の文化に触れ、視野を広げた。晩年、龍津寺を弟子に託し再上洛。洛中に「通仙亭」という庵を構え、茶を売りながら禅や人の生き方を説いた。その姿に人々は親しみを込めて「売茶翁」と呼んだ。

通仙亭には文人墨客が集まり「売茶翁に一服接待されなければ一流の文人とは言えない」といわれ、伊藤若冲や池大雅などが集まり、若冲は売茶翁の肖像画も多数書き残している。漢文にも堪能で、漢詩や和歌を残し、書家としても超一級の人物であった。



▲85歳時の売茶翁直筆の書。「三省」とは中国の曾子(そうし)の言葉で「毎日何度も自分の行動を反省する」の意(NPO法人 高遊外売茶翁顕彰会蔵)

本名?あだ名? 売茶翁の名前

売茶翁という名は実は名前ではなく、お茶を売る翁(おきな)という意味のあだ名のようだ。本名ではないが、本人も時にはこの名前を記す事もあった。本名は柴山元昭、幼名は菊泉。僧侶としての名前は月海で、晩年は高遊外と名乗っていた。ちなみに高が姓で、遊外が名前。

難解だけど面白い 売茶翁のユーモア

「茶銭は黄金百鎰(いつ)より半文銭までくれてしまい。ただで飲むも勝手なり。ただよりほかはまけ申さず」(訳:お茶の代金は小判二千両から半文までいくらでも結構。ただで飲んでも結構。ただより安くはできません)これは売茶翁が煎茶を売る時に掲げた言葉。ユーモアあふれる言い回しに、ぜひ本人に会ってみたくなる。



肥前通仙亭内にもこの言葉が掲げられている

自然に人が集う人柄 文化人が常に集う場所に

売茶翁のその自由な精神に魅かれるのか、周りには多くの人々が集まった。江戸時代の天才画家、伊藤若冲もその一人。人物画を描かなかった若冲がただ一人描いたのが売茶翁であり、売茶翁からもらった「丹青活手の妙、神に通ず(彩色の素晴らしいは正に神業である)」の一言書を印にし、絵に捺している程心酔していた。



▲「売茶翁假語」(ばいざうおうご)
売茶翁亡き後、大典頌念など当時の文化人が、その口述などをまとめた本。巻頭の肖像は伊藤若冲作(NPO法人 高遊外売茶翁顕彰会蔵)



売茶翁足跡探訪コース【約3時間】(移動約65分+観光散策約115分)

モデルコース 日本茶栽培の発祥地から売茶翁ゆかりの地を巡り、お茶を親しみ、禅を体験する



車で約40分



②龍津寺

車で約15分



③肥前通仙亭

車で約5分



④佛心寺



⑤大興寺

①靈仙寺跡の茶園

日本茶栽培発祥の地。1191年栄西禅師が中国から持ち帰ったお茶を当時九州一の山岳仏教の聖地だった脊振山腹で栽培した。

所 神埼郡吉野ヶ里町松隈字坂本付近
問 吉野ヶ里町東脊振庁舎
産業振興課 ☎0952-37-0350

売茶翁が幼い時出家したお寺。現在はお堂が焼失し小さな庵を残すのみ。売茶翁の顕彰碑や柴山家の墓碑が建っている。

所 佐賀市巨勢町東西137-5
問 佛心寺
☎0952-24-8528

売茶翁に関する資料の展示や情報発信の拠点。直筆の書など、ゆかりの品も充実。もちろん美味しい煎茶も頂ける。

所 佐賀市松原4-6-18
問 9:00~17:00
休 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
料 見学無料
問 ☎0952-65-2152

売茶翁ゆかりの黄檗宗のお寺で、住職は売茶翁が出家した龍津寺の兼務住職を務めている。訪問の際はお問い合わせを。

所 佐賀市大財4-3-14
問 ☎0952-24-8528

売茶翁ゆかりの黄檗宗のお寺で、「禅」の体験や勉強会も定期的に開催されている。ご希望の方はお問い合わせを。

所 佐賀市神野東3-10-3
問 ☎0952-33-1713



なり ど み ひ ゆ ご し げ や す

成富兵庫茂安

今も遺構が残る治水の神

詳しくはコチラ!



▲「鎧色塗紺糸威仮二枚胴具足」
天草の戦いにおいて加藤清正に加勢したこと
から、清正より授けられた甲冑(鍋島報效会蔵)

武将から治水家へ鮮やかな転身

肥前国を治めていた龍造寺氏の家臣である成富信種の次男として生まれる。11歳で主君の龍造寺隆信の小姓として仕えるようになり、17歳で初陣。以降、幾多の戦いで武功を上げ、豊臣秀吉の朝鮮出兵では鍋島直茂から全権を任されて活躍。また、その知略ぶりから多くの逸話を残し、武士道書「葉隠」にも多くのエピソードが残されている。

戦国の世が終わると藩内の禄高を上げるために、幾多の水利施設の整備を行う。その実施前には実際に模型を作り、緻密な実験をしたと言われる。工事には地元の農民を作業に当たらせたが、農繁期には作業をさせないなど、その気遣いぶりで領民から親しまれた。

茂安自身は1634年、75歳でその生涯を閉じるが、彼の水利システムは今でも現役で、佐賀平野の稻田を潤し続けている。



▲嘉瀬川から佐賀城下へ水を取り込む巨大取水施設「石井樋」
その完成により、洪水被害は減り、佐賀城下の水不足は解消された
(画像提供:筑後川河川事務所)



▲「疏導要書」(そどうようしょ)
佐賀藩の南部長恒によって1834年に書かれたもので、
藩内河川の水利状況や成富兵庫茂安の事績が細かく記されている。
(鍋島報效会蔵 佐賀県立図書館寄託)

初陣はフライング 父が救った命

若い頃の茂安は血氣盛ん。11歳の時に若すぎる初陣の許可が出なかったため、独断で戦場で物見を行い、それが龍造寺隆信の目に留まり、以来小姓として使えるようになる。さらに18歳の時に博打にハマり父親の納倉まで失ってしまう。いそ殺てしまえという親族に対し、父信種は一年だけ待ってくれと茂安を徹底的に指導。その心に打たれた茂安は見事更生を果たすのだった。

戦国一の策士 普請場の陣取り合戦

大阪での普請(工事)を命じられた時のこと。作業するため必要な場所は既に他藩が押さえていた。そこで、夜中にその脇の川の中に杭を打ち込み、翌日に「3日前に杭を打って場所を確保しておいたが、水が増えて見えなくなってるようだ」とその杭を引き抜き、その場所を横取りしてしまったんだとか。「茂安は戦国一の曲者(くせもの)」との異名さえついた。



「眠るならそばに」。養子に 来た藩主の息子に慕われる

茂安は藩主・鍋島勝茂から、その四男の直弘を養子として預けられた。これは成富家の後継ぎとしてではなく、武士として立派に育てて欲しいという思いから。藩主の子供を預けられることから、いかに茂安が信頼された人物だったかが分かる。直弘は後に鍋島家に復籍し白石鍋島家を興すが、その墓は直弘の遺言により、茂安と同じ本行寺に建てられている。父子だった期間は短いものの、茂安と直弘の深い情愛が感じられる。



▶鍋島勝茂像
(鍋島報效会蔵)
佐賀藩の初代藩主。
龍造寺隆信の後、政家、
高房の死去を受け、父の
鍋島直茂が藩祖・勝茂が
藩主となって、佐賀の地
を治めた



成富兵庫茂安足跡探訪コース【約2時間】(移動約55分+観光散策約65分)

モデルコース

生誕地から茂安三大事業の一つ、石井樋を経由し、墓地までその功績を辿る



車で約5分



車で約10分



車で約10分



車で約30分



①成富兵庫茂安公誕生之地

佐賀市鍋島町大字鍋島1397付近
佐賀市鍋島町大字沿いに誕生400年を記念して建てられた顕彰の碑。

所 佐賀市鍋島町大字鍋島1397付近

②石井樋公園・さが水ものがたり館

石井樋は茂安考案の大型取水施設で、彼の仕事を今に見ることができる貴重な遺構。関連の資料館も併設で、詳しく学べる。

所 佐賀市大和町大字尼寺3247

開 9:30~17:00

休 月曜(祝日の場合は翌日)

12/29~1/3

料 無料 問 ☎0952-62-1277

③築山公園

茂安は築山の南麓に住んでおり、築山頂上には、茂安夫妻等の石碑や追腹殉死者の墓石がある。

所 佐賀市大和町大字尼寺1363付近

④葉隠発祥之地

武士のあるべき姿を様々な事例で記した「葉隠」。その口伝と執筆が行われた「朝陽軒」があった。林の中に碑が立つ。

所 佐賀市金立町大字金立1557付近

⑤本行寺

茂安の遺言により、遺体は築山、遺髪は菩提寺である本行寺に埋葬された。昭和15年の墓地改葬の際、遺骨も本行寺に改葬されている。

所 佐賀市西田代1-4-6

開 ☎0952-24-1813

幕末・維新期の 佐賀の賢人たち

人物相関図

佐賀藩から日本の中央政界に飛び立ち、近代国家の礎作りをした佐賀の賢人たち。彼らは幼少時から青年期を経て、やがて日本を動かす重要人物になっても、様々な局面で相互に助け合ったり、時には信念を貫き反発しあいました。歴史上有名な関係から、意外なつながりまで、ダイジェストでご紹介します!

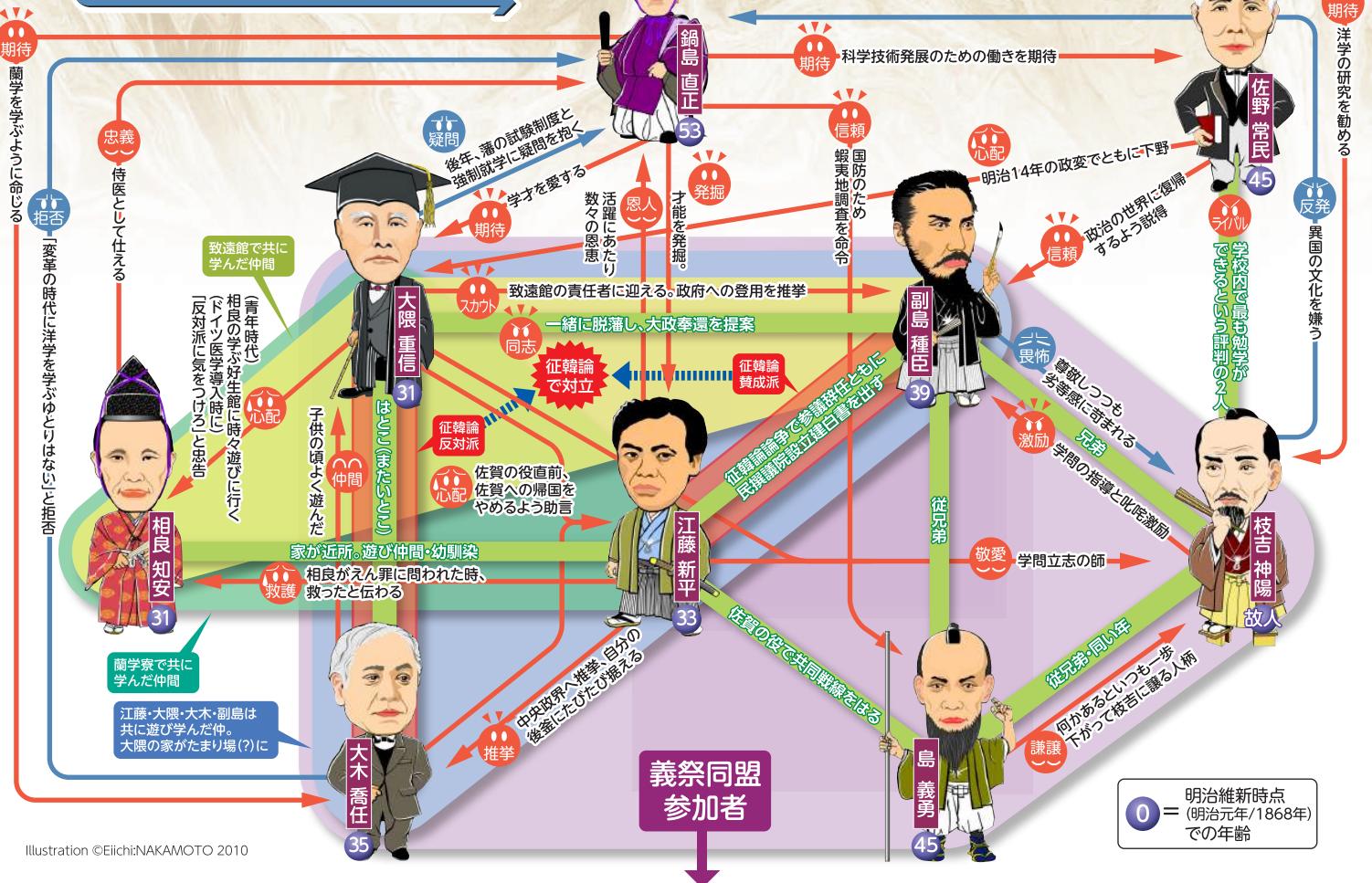


Illustration ©Eiichi:NAKAMOTO 2010



◆楠神社の隣には義祭同盟の碑が建立。現代でも毎年5月には楠正成・正行親子を讃える「楠公祭」が行われています。

幕末・維新の賢人 グルメ&グッズ

賢人にはまつわるエピソード料理や
デザートがぎゅぎゅっと詰まった

義祭弁当



義祭同盟参加者に鍋島直正、佐野常民を加えた「8賢人」にゆかりのある惣菜を集めて幕の内弁当に。人気商品なので、前日の予約が必要

の予約が必要。
価格:1080円(お茶付)
製造・販売・お問い合わせ:林檎亭
電話:0952-23-2788
販売所:林檎亭(佐賀市中の小路3)

専攻学部・お仕事ごとにゲットしてもよし!
受験や勉学のお守り代わりに

佐賀賢人バッジ



一枚一枚が「学部別・専攻別」の受験や勉強のお守り代わりに!
あなたの目標に合わせて買うも良し、12人一気に揃えるも良し!!

価格: 1個150円(税込) / **販売:**佐賀市観光協会 / **電話:**0952-20-2200
販売所: 佐賀市観光交流プラザ、佐賀市観光案内所、佐賀城本丸歴史館、
佐野參民記念館 大隈重信記念館 膜平通商店など

※郵送も受け付けております(送料はお客様ご負担です)。

同行する久米邦武らの名前も残っており、その参加者には幕末維新期の中央政府で活躍した人物も数多くいました。後に二度の総理大臣を務めた大隈重信は「予がこれに加盟したのが、世に出て志を立てるきっかけになったと言ってもよい」と回顧しています。

**個性派揃いの8人がお待ちしています
幕末・維新 佐賀の八賢人**

おもてなし隊

毎週日曜日、
左賀城本丸歴史館で
一日5回の無料寸劇を
週替わりの演目で
上演中





佐賀の賢人の 足跡を巡る。 【スヌップ】

コースマップ



【発行・お問い合わせ先】

一般社団法人

佐賀市観光協会
www.sagabai.com

■佐賀市観光交流プラザ (エスプラット2F)

営業：10:00～18:30
(火曜は19:00、日曜は16:00まで)
定休：土・祝日・年末年始

足休・上祝日・年末年始
TEL: 0952-20-2200
FAX: 0952-28-5656

※本パンフレットは觀光的目地から作成したものです 禁無断複写(コピー)、転載

■SAGA MADO観光案内窓口
(コムボックス1階)

営業：9:00～18:00

定休 : 1/1

TEL/FAX : 0952-37-3654

■佐賀市観光案内

(JR佐賀駅構内)

営業：8:30～18:00
(土日祝17:00まで)
定休：年末年始(12/31 - 1/3)

※本パンフレットは観光的見地から作成したものです。禁 無断複写(コピー)、転載 2021年3月改訂

